

あかびらの 今と昔

今と昔のあかびらでは、どのように変化をしているのでしょうか。ここでは、昔の懐かしいイベントや風景、建物などを紹介していきます。

国際鉱山ヒストリー会議

平成15年9月、第6回国際鉱山ヒストリー会議が赤平市で開催されました。世界各国、日本各地から研究者142名が集まりました。それまで世界の都市で開催されてきた国際会議を、人口1万5千人ほど(当時)のまちで催すことは大きな挑戦でした。

市内ではこの会議をきっかけに、使われなくなった炭鉱の機械類を整備しなおして、多くの人に見てもらえる資料が作られました。ボランティアガイドの誕生にもつながりました。

開催期間中、基調講演や研究発表などが行われた合間に、市民の皆さんは創作ミュージカルや火太鼓、住吉獅子舞で参加者を盛り上げました。海外の方との通訳や、日本文化に触れてもらうプログラムの運営にも協力していただきました。

当時、国際鉱山ヒストリー会議を開催した経験は、現在の炭鉱遺産を活用したまちづくりに発展しただけでなく、市民一人ひとりに「おもてなしの心」を育んだのではないかと思います。



お茶席は大好評



話しかけられる通訳さん



公開に向けた機械の整備



お寿司づくりの体験も

8月末まで開催しておりました「あかびら大盛メニューキャンペーン」に市内・市外からたくさんの方にご参加いただきました。少しずつではありますが、フェイスブックやウェブサイトの効果が出てきていることを実感することができて、うれしく思います。今後もまた、皆さんに楽しんでいただけるような、そしてお店に足を運んでいただくきっかけになるようなキャンペーンを実施していきたいと思っています。

大盛メニューはキャンペーン用メニューではなく、これからも通常メニューとして注文することができます。キャンペーン後も引き続きよろしく願いいたします！

地域おこし協力隊 近藤



珍来のチョモランマに挑戦！
お腹いっぱいになりました…

地域おこし協力隊通信

